

平成23年8月3日

## 第63回「保健文化賞」受賞者の決定について

第一生命保険株式会社（社長 渡邊光一郎）が主催する第63回「保健文化賞」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

「保健文化賞」は、昭和25年に創設されて以来、保健医療、生活環境、高齢者および障害者保健福祉、少子化対策等の多岐分野において著名な実績を残された団体および個人を表彰することで、保健衛生の発展に寄与し、この分野では権威ある賞として高い評価をいただてきました。

第63回となる本年度は、2月1日から4月15日の期間に募集を行い、団体、個人合わせて59件のご応募をいただきました。この度、審査委員による選考のもと、10団体、個人5名の受賞者が決定しました。

これまでの受賞者総数（今回含む）は、615団体、個人316名、合わせて931件のぼります。

なお、贈呈式を以下のとおり開催し、受賞者には、厚生労働大臣から表彰状を、そして当社からは感謝状とともに賞金（団体200万円、個人100万円）を贈呈します。

### 記

1. 第63回「保健文化賞」受賞者名

別紙のとおり

2. 贈呈式

平成23年10月下旬～11月上旬

都内にて

以上

主催 第一生命保険株式会社  
後援 厚生労働省  
朝日新聞厚生文化事業団  
NHK厚生文化事業団

### 第63回保健文化賞受賞者一覧

| 受賞者名                                  | 都道府県 | 業績   |
|---------------------------------------|------|--|
| 日本歯科大学新潟病院<br>在宅歯科往診ケアチーム             | 新潟県  | 20年以上にわたり、地域における要介護高齢者の訪問歯科診療や障がい者福祉施設での無料歯科検診に取り組んでいる。また、新潟県中越地震、中越沖地震などでは、在宅歯科往診ケアチームを編成し、被災者への応急歯科治療や口腔ケアを行い、被災者の健康保健対策に貢献している。   |
| 石川県歯科医師会 口腔衛生センター                     | 石川県  | 地域における心身障がい児・者に対して、歯科診療、検診や口腔衛生指導を行い、歯科疾患にかかる予防および治療に貢献している。また、要介護高齢者に対する歯科診療の円滑化への取り組みを推進、心身障がい者・要介護高齢者の口腔衛生思想の啓蒙並びに向上に貢献している。      |
| 公益社団法人<br>認知症の人と家族の会山梨県支部<br>(あした葉の会) | 山梨県  | 認知症の理解を深めるため講演会や相談などの普及啓発活動により、孤立しがちな家族への理解と支援を地域に訴えるとともに、山梨県の社会福祉審議会での議論にも参画し、政策改定に関与するなど、認知症の方やその家族を支援する地域で支え合う体制づくりの構築に貢献している。    |
| 小山ライオンズクラブ                            | 静岡県  | 献眼の大切さの啓蒙活動を重点としたアイバンク活動を行い、小山町においては多数の献眼者登録に至っている。近隣のアイバンク活動にも影響を与え、眼科領域の保健衛生向上に貢献している。   |
| 浜松外国人医療援助会                            | 静岡県  | 外国人の集住する浜松市の地域特性に沿って、外国人を対象とした健康診断を毎年実施するとともに外国人学校における健康相談等、外国人が健康に不安なく就業、学習できるよう地域保健・地域医療および学校保健の活動に取り組んでいる。                        |
| 特定非営利活動法人<br>MCサポートセンターみつくみえ          | 三重県  | 地域の母子及び家庭の子育てに関し、保健医療等の専門職による個別的ニーズにあったサポートと虐待の未然防止活動を実践するとともに、産後うつ等母親への精神的課題への取組みと母子の健全育成・思春期の健康教育の実践に貢献している。                       |
| 大久野島毒ガス傷害研究会                          | 広島県  | 広島県大久野島の毒ガス製造工場における毒ガス傷害者に対して、健康診断の実施および毒ガスに起因すると思われる健康被害に対する研究調査や医療活動を実践するとともに、毒ガス傷害の後遺症の実態解明に貢献している。                               |
| 宗像医師会訪問看護ステーション                       | 福岡県  | 福岡県における在宅医療推進のために在宅ターミナルでの訪問看護において、技術的支援や助言を実施するとともに、講演会等において地域や関係機関との連携の必要性を提言し、地域・職種を超えた在宅医療推進事業の推進に貢献している。                        |
| 長崎県A T Lウイルス<br>母子感染防止研究協力事業連絡協議会     | 長崎県  | 長崎県において、成人T細胞白血病（A T L）ウイルス母子感染防止事業を全県規模で継続することにより、母乳によるウイルス感染を証明するとともに、正しい知識の普及啓発に取り組み、長崎県における新たなA T Lウイルス母子感染の防止に貢献している。           |
| 沖縄県南城市                                | 沖縄県  | 地域の歴史的背景、気候条件等の特性を考慮に入れた実態把握や医療費分析結果から、課題を明らかにし、生活習慣病予防に着目した保健活動を行い、受診率や保健指導率を向上させている。また、医療費分析を基にした健康啓発により住民の主体的な健康づくり活動の推進にも貢献している。 |
| 伊藤 祝子                                 | 宮城県  | 戦後の混乱期以降、産婆として家庭分娩2500件を安全に介助するとともに、母体保護のため産後の休養、栄養、衛生面のみならず、家族、地域の衛生思想の普及に尽力するなど、家庭・地域への保健衛生知識の普及と母体保護のための顕著な保健指導活動に貢献している。         |
| 工藤 翔二                                 | 千葉県  | びまん性汎細気管支炎の治療法の発見など呼吸器系難病の治療、喫煙によるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の予防・早期発見、大気環境の保全、薬剤の副作用による肺障がいの防止、結核教育など呼吸器領域における幅広い保健医療の発展に貢献している。                  |
| 大森 文太郎                                | 岡山県  | 岡山県精神科医会を立ち上げ、県内の精神科医療の発展の礎を築くとともに、県精神科医療審査会委員として退院請求審査の迅速化を図る等、質の高い精神保健福祉行政の実現に貢献している。  |
| 馬原 文彦                                 | 徳島県  | 昭和55年に無医地区で開業して以来、長きにわたり地域に密着した地道な保健衛生活動に尽力している。特に感染症の対策では行政、医療機関等との情報ネットワークを構築し、徳島県における新型インフルエンザ等感染症対策の推進に貢献している。                   |
| 香月 武                                  | 佐賀県  | 17年にわたり発展途上国で貧しく十分な医療を受けられない子どもたちに無償の歯科医療奉仕活動（口唇・口蓋裂手術）を実施するとともに、現地の医師に対し口腔外科学の教育や手術の技術指導を行い、発展途上国の医療向上に貢献している。                      |